



Washington Japanese Language School

(祝) 60 周年 ワシントン日本語学校

はなみずき

mail:wjls@wjls.org <http://www.wjls.org/>

2018 年 6 月 9 日発行 第 10 号

ワシントン日本語学校(補習授業校)

校長 佐藤 良明

[ワシントン日本語学校事務局]

HOT LINE (301)962-7415

TEL (301)962-7410

FAX (301)962-7411



●日米両国間の学識者を一堂に集めて両国間の文化・教育交流に関する諸問題を討議し、文化・教育分野での交流の増進と相互理解の向上について勧告を目的とする会議「日米文化教育交流会議(The United States - Japan Conference on Cultural and Educational Interchange :通称 カルコン CULCON)」が、6月5日ワシントン D.C.において開催されました。CULCON 日米合同会議は、2年に1度、東京とワシントン D.C.を会場地に交互に開催され、28回目を迎えました。前日の4日にレセプションがありました。

●日米グローバル社会で活躍できる人材を育てようという試みは、大学を中心にいろいろな取り組みが行われ、現在、政治・経済・文化をはじめとするさまざまな分野でグローバル化が進展しています。

そのような中、CULCON の日本における対策の一つに、グローバル人材の育成に向けた国際経験の重要性を挙げています。子供達が世界に出て、世界の強豪と渡り合うとき、躊躇せず瞬発力のある発言やアイデアを出していけること、時には人に伝える情熱的な表現力が必要なこと、子どもの頃からグローバルな視点を意識した環境にいかによく接することができるかが鍵と言われます。

海外の日本人学校や現地校、補習授業校で学ぶ子供たちは、日本と異なる言語・文化・社会環境の中で生活・学習しており、将来のグローバル人材の「金の卵」とあるとも言われます。

補習校はその授業時数や施設設備等において日本人学校に比して様々な制約があることから、これまでグローバル人材育成拠点として十分認識されていなかった面がありました。しかし、補習校には、語学面のみならず、外国の教育制度に基づき、外国の子供たちと共に教育を受けている子供たちが在籍しており、在外教育施設の中でもグローバル人材育成の最前線にあるとも言えます。

正に、本校で学ぶ子ども達に対する期待は、益々大きな



CULCON レセプション 杉山在米日本国大使
ご挨拶から (6月4日)

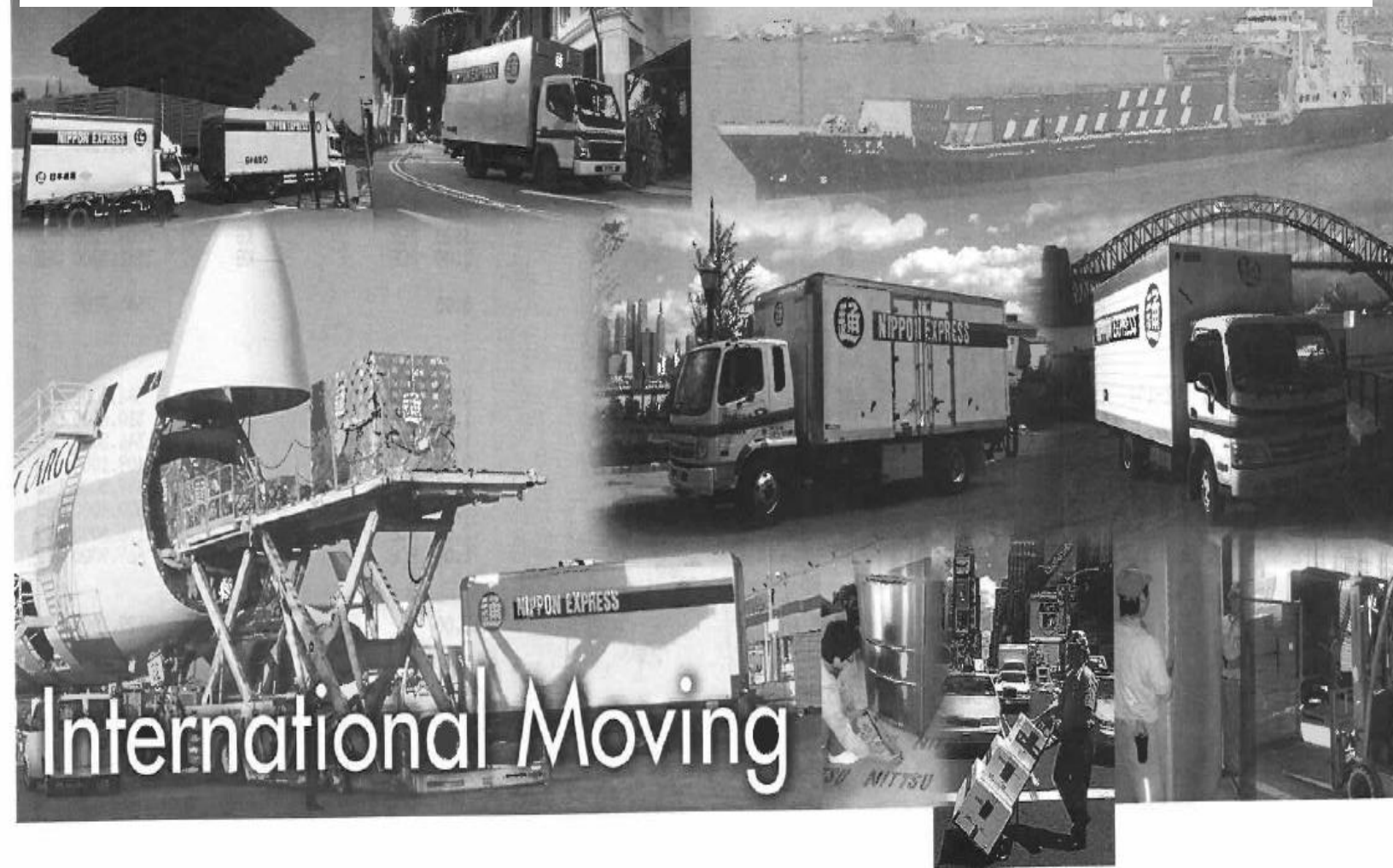
ることでしょう。日本語学校で学ぶ子ども達を思いながら、CULCON レセプションに参加してきました。

●文部科学省は「在外教育施設グローバル人材育成戦略について」以下を掲げています。

1. グローバル人材育成最前線にある在外教育施設の教育の質の向上を図ることは、我が国のグローバル化戦略の中でも極めて重要かつ有効な施策。
2. 従来型の教育支援から、グローバル人材育成のための拠点として、より積極的なグローバル人材育成に資する教育の強化を図ることが重要。
3. 補習授業校(以下、補習校)は、語学のみならず、外国の教育を直接体験しているグローバル経験豊富な子供たちが多く、補習校における教育の充実を一層図ることも重要。
4. 長期滞在者や日系人の児童生徒が増加する中、必ずしも日本への帰国を前提としない児童生徒に対する日本語教育の支援や学習支援の提供は、国外における我が国の理解者を増やす上でも有効。
5. 未就園児や幼稚園児の比率が高まる中、母語習得や資質・能力を伸ばす基礎を形成する重要な時期の幼稚園段階の教育の在り方について検討することは重要。高校段階の高度なグローバル教育の在り方についての検討も急務。

(一部抜粋)

帰国の際の引越しは、日通にお任せ下さい



海外からの帰国にピッタリな引越しプラン

スタンダードサービス: 梱包から大型家具の輸送までお客様のニーズにお応えします。

スモールパッケージサービス: お荷物の少ない方にお勧めのお得なパッケージサービスです。

お申し込み、お問い合わせは米国日本通運ワシントン支店まで

学力テストを実施しました

先週、以下の目的で「学力テスト」を実施しました。

○児童・生徒の多様化に伴い、家庭環境、言語環境が様々であり、児童・生徒の日本語力に合った授業内容の改善が必要となっている。

○児童・生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育指導の充実や学習状況の改善に役立てる。

○児童・生徒自らが、自己の日本語学校における基礎学力の定着を客観的に捉え、自己の学習改善に役立てる。
受験率 91.4% でした。欠席等で未受験児童・生徒については、本日から 6 月 30 日まで実施致しますので、受験をお願いいたします。各個人の成績の結果については、2 学期にお返しいたします。



小 3 年生



小 5 年生



中 2 年生



第 1 回「校長との座談会」

◆ 6 月 23 日 9:30am ~ 11:00am

◆ カフェテリア 4 にて

「学校（校長）と保護者の皆様とが相互理解を深めるとともに 日本語学校における子ども達の成長を考える」という趣旨で、学校側からの情報提供と保護者の皆様とざっくばらんな意見交換をする会です。

情報提供

- ・ 校舎内外の事故防止について、安全対策の取り組み
- ・ 2 学期制について考える



ワシントン日本商工会 財団訪問 5 月 31 日

杉本財務部長、戸田教育人事部
長、馬場総務部長、吉野広報部長
田寄事務局長と共に、ワシントン日本商
工会財団を訪問しました。地域協力担当理事の
松野様、権田様とお会いし、本年度も学校教育
活動への協力をお願い致しました。



ニューポートニュース補習校来校

○ 2 日ニューポートニュース補習校の先生 2 名が、研修のため来校いたしました。幼稚部担任のスコット先生（写真中央左）と小学部 5 年担任の一ノ瀬先生（中央右）が、幼稚部と小 1 年と 5 年を中心にそれぞれ授業の様子を参観してもらい、本校の取り組みを説明いたしました。

子ども達が楽しそうに学んでいること、児童生徒の人数の多さに驚いていました。

○ニューポートニュース補習校は、本校の巡回指導訪問校になっていて毎年 1 回教頭が訪問し、先生方の授業を参観し、指導助言をおこなっています。

